

令和7年度 伊勢原市総合農政審議会 会議録

【事務局】 農業振興課

【開催日時】 令和7年2月3日(火)午後1時30分から午後3時30分

【開催場所】 伊勢原市民文化会館 練習室2

【出席委員】 加藤 重治、加藤 敏幸、大谷 仁、鈴木 雅之、村山 和正、
深瀬 太一、青木 房江、岸田 文雄、加藤 京子、
平田 光一(代理 力石 清一)、亀井 貞之(代理 細野 輝男)、
木村 覚(代理 曾根田 友暁)

【欠席委員】 二見 雅夫、太田 健介

【伊勢原市出席者】 大島副市長、
天野農地利用担当部長、田中参事(兼)農業委員会事務局長、
神戸農業振興課長、佐野農林整備担当課長、
金子係長、萩野係長、青木主査、石原主事

【公開の可否】 公開

【傍聴者】 0人

≪審議の経過≫

1 開会

2 伊勢原市総合農政審議会委員委嘱

3 挨拶

4 委員及び職員紹介

5 正副会長の互選

会長に加藤重治委員、副会長に加藤敏幸委員及び大谷仁委員が選出され、承認された。

6 議題【報告事項】

- (1) 伊勢原市の農林業の概要及び状況について
- (2) 農政関係部署の事業概要について
- (3) 地域計画の今後の取組について
- (4) 農業振興地域整備計画の見直し結果について
- (5) 伊勢原市農地災害復旧工事補助金の創設について
- (6) 有害鳥獣対策に関する取組について
- (7) 農産物直売所マップについて

7 質疑応答、意見交換

(委員)

伊勢原市農地災害復旧工事補助金について、ビニールハウスや農業用倉庫等の農業用施設は対象外とあるが、ガラス温室は対象になるのか。

(事務局)

ガラス温室については対象外としている。ガラス温室を含めた農業用施設の災害復旧については、災害被害の状況に応じて国補助制度が整備されるため、国補助制度を利用してもらうことになる。

(委員)

災害時に農業用施設が損壊したら、どのように対応すればよいのか。

(事務局)

市に連絡いただければ、活用できる補助制度や災害復旧時の対応について説明する。また、国等から制度の案内があれば、市ホームページ等で情報発信する。

(委員)

災害時の河川等の状況については、どこで情報収集ができるのか。

(事務局)

災害時の河川の水位状況については、市ホームページに情報を掲載していることに加えて、防災行政無線やくらし安心メール等で情報発信している。また、市に連絡いただければ河川の状況等を回答する。

(委員)

農業をやってみたい学生や定年後農業に従事してみたいなど、これまで農業をやっていた方々の農業のボランティア等の受入先はあるのか。

(事務局)

援農ボランティアについては、新たに立ち上げに向けて農協と市で調整を進めてい

る。

(委員)

開発等がされることにより農地が減少しているが、減った農地に対して代替地を確保する等の措置は考えているのか、このまま農地が減っていくと食糧自給率の低下等にもつながるので市の考えを聞きたい。

(事務局)

開発した農地を復元することはできない、開発等の関係で少なくなった農地を新たに別の場所で確保していくことも難しいので、農地の扱いは慎重に判断していきたいと考えている。また、農振法の改正があり、農地総量の確保のため、農用地の規制が強化されており、市としても農地を守っていく考えである。

都市化の進展により、市全体のまちづくりの視点から、農地については開発等が求められるところが多く、都市農業地帯ならではの難しさがあるが、大消費地の近さは強みでもあるので、農業の合理化や省力化等により収益を上げられる流れに展開していただくことが大事であると考えている。

(委員)

温暖化によって農畜産物の収量が減少することに対して、市ではどのように考えているか。

(事務局)

作物の高温障害は全国的な課題になっている。市としては、高温条件下に対応した品種開発や栽培方法の技術指導等について、農業者からの意見を集約し、関係機関に要望していきたいと考えている

(委員)

温暖化の対策は、高温耐性の品種が国からでてきているものもある。県としては、技術的なアドバイスや高温化に対応した品目の紹介などを交えながら対応していきたいと考えている。

(委員)

女性が農地を取得し、新規参入することについてハードルはあるのか。

(事務局)

農地を取得する事には、男性や女性や外国人である等の縛りはない。あくまで、農地を適切に利用できるかどうかを判断基準にしているので、新規参入については、農業アカデミーや、認定農業者のもとで研修を受けること等で農業経営の知識や栽培技術等を身につけていただいていることが確認できれば、男性女性に限らず、農地を借りる事ができる。

(委員)

女性が子育てしながら農業を行う環境についてはどのように考えているか。

(事務局)

女性が子育てしながら農業を行う環境については、女性農業者の意見を取り入れることが重要になっている。農業委員会では、女性農業委員の人数を増加させること等で女性農業者の意見を取り入れる環境づくりに努めている。

(委員)

耕作放棄地の草刈りの指導をお願いしたい。風が強く、乾燥している条件下であると草刈りをしていない耕作放棄地は、火事の原因になる。土地の所有者に適切な管理をするように指導してほしい。

(委員)

草刈りをしていない耕作放棄地については、土地所有者に訪問して指導している。

耕作放棄地の所有者が置かれている状況によって土地の管理が難しい方もおり、改善されない農地があるので、引き続き継続して指導を行っていく。

(委員)

伊勢原市産の間伐材を用いて、市内学校の机と椅子が製造されていることを、学校の生徒や親に周知できているのか。

(事務局)

市内小中学校に書類を配布して周知している。また、市のホームページにも掲載している。

8 閉会